

清水はやと「しあわせ倍増プラン2009」「行財政改革」スタート

マニフェスト等一年間で実現したこと

※平成22年度予算計上分も含む



徹底した行財政改革

少ない予算で大きな効果を上げる生産性の高いまちづくりを進めています。

- ・市長の退職金50%削減、給与・期末手当10%削減一特別職給与・期末手当5~7%削減
- ・114億円の行財政改革（人件費19億円削減）
- ・サッカープラザの白紙撤回
- ・市長直轄「行財政改革推進本部」設置・民間人登用11名
- ・外郭団体への自動的な天下り廃止（※「自動的な天下り」市の推薦に基づき、市OBが外郭団体の役員職へ就職すること）
- ・外郭団体の長への市長・副市長の兼職を廃止
- ・職員の積極登用・庁内公募制の導入
- ・外郭団体改革プラン策定（4年間で22団体を17団体に統廃合・約15億円削減）
- ・さいたま市版事業仕分け（行財政改革公開審議一市民参加型）実施
- ・公共施設マネジメント会議設置調査実施
- ・絆運動（一職員一改善提案）充実
- ・“ありがとう”メール実施



市民サービスの向上

暮らしやすいまちづくりを進めています。

- ・区役所の在り方検討委員会開始
- ・各10区に暮らし応援室、フロアアドバイザーの設置・充実（市民の相談窓口・たらいまわしにしない）
- ・コンビニエンスストアでの市税の収納開始
- ・区長マニフェストの推進（明るい区役所づくり他）

子どもたち・子育て支援

子どもたちの輝く未来のために取り組んでいます。

- ・子ども未来局新設
- ・保育所の整備、昨年350名（6施設）増→今年445名（8施設）増に
- ・保育所の運営費補助 昨年120名増（新設1カ所 定員増1カ所）→今年350名増（新設4カ所、定員増2カ所）
- ・ナーサリールーム 昨年344名（89施設）増→今年540名（100施設）増（総定員3008名に）
- ・放課後児童クラブ受け入れ可能児童数→今年360名増・7施設増
- ・土曜チャレンジスクール（どちゃれ）30校で実施
- ・放課後チャレンジスクール小学校40校、中学校5校で実施
- ・児童虐待を無くそう！児童相談所の強化
- ・子育て支援センター2カ所増設（9カ所に）
- ・小中学校4校、保育園10園の校庭を芝生化
- ・一日幼稚園教諭・保育士体験事業開始
- ・さいたまパバスクール開始

- ・プロスポーツ選手、アーティストによる授業の全校実施開始
- ・小中学校の耐震化の前倒し（平成24年度まで完了）他

高齢者・障がいのある方への支援

お年寄りや障がい者が安心・安全に暮らすまちづくりを進めます。

- ・介護者の相談、癒しの場（地域包括支援センター）の年中無休化
- ・配食サービス週4回から5回へ
- ・シルバー元気応援ショップ制度創設
- ・シルバーユニバーシティ学科の新設、定員拡大
- ・特別養護老人ホーム 300増床
- ・老人福祉センター2カ所増設
- ・介護者サロン、高齢者サロンの推進
- ・介護予防事業の推進
- ・障害者援護施設整備
- ・障害児通園施設「はるの園」整備
- ・特別支援学校・学級の整備・新設
- ・ノーマライゼーション条例検討スタート

環境先進都市で暮らしやすく

環境に配慮しながら暮らしやすいまちづくりを進めています。

- ・E-KIZUNAプロジェクト（電気自動車の普及促進）
- ・E-KIZUNAサミット・フォーラムinさいたま開催
- ・（仮称）見沼基本計画策定
- ・公園整備5カ所増設等のみどり倍増プロジェクト推進
- ・下水道普及率87.9%へ
- ・身近な道路（スマイルロード、暮らし道路）整備（原則要望から3年以内）
- ・駅のバリアフリー化（加茂駅、東大宮駅）
- ・浦和駅鉄道高架化の推進
- ・日進駅、指扇駅、岩槻駅の橋上化・改修推進
- ・コミュニティバス路線等の検討開始
- ・大宮駅周辺地域戦略ビジョン策定—NHK放送会館誘致推進へ
- ・地下鉄7号線事業計画、開発需要の調査の実施

情報公開日本一

「市政の見える化」に取り組んでいます。

- ・都市経営戦略会議の議事概要公開
- ・予算編成過程の公表
- ・市へ寄せられた意見とその対応状況を公表、
- ・身近な道路（スマイルロード、暮らし道路）整備要望状況一公表
- ・印刷物、イベント、工事などにコスト表示

徹底した現場主義

250が所以上で市民の生の声を聞いています。

- ・現場訪問261カ所（平成22年8月10日現在）

（現場訪問149カ所、学校訪問47カ所、タウンミーティング—全10区で計31回開催、職員車座集會34回）

スポーツのまちづくり

日本の健康で、元気なまちを目指しています。

- ・市民・スポーツ文化局新設
- ・さいたま市スポーツ振興まちづくり条例制定（政令指定都市全国初）
- ・さいたま市スポーツ振興まちづくり計画策定開始
- ・スポーツコミッション検討委員会開始
- ・多目的広場倍増プロジェクト推進
- ・駒場スタジアムの改修・大宮アルディージャの練習場整備開始
- ・浦和レッズ・大宮アルディージャと包括協定締結

市民との協働

市民や大学との連携や協働を推進しています。

- ・自治基本条例検討委員会設置・検討スタート
- ・市民活動を促進するマッチングファンド制度の創設（全国トップレベル）
- ・大学コンソーシアム準備会設置（さいたま市内隣接12大学）検討スタート

できなかったこと

1年目には実現できなかったこともありました。

- ・3期12年までの多選自粛条例をH21年6月議事に提出後、否決されました。
- ・「敬老祝金」から「敬老祝金見直し+地域包括支援センター年中無休化+配食サービスの充実+シルバー元気応援ショップ+特養老人ホーム充実など」への転換が否決されました。

シルバー元気応援ショップと介護者の相談窓口（地域包括支援センター）の年中無休化がスタート

さいたま市では、今年9月15日からシルバー元気応援ショップ制度をスタートします。65歳以上の市民の皆様にお送りしているシルバーカードを下のステッカーを掲示している協賛店で提示すると、購入時の割引や様々な特典を受けられる制度です。8月3日現在、買い物や食事、学びや健康など様々な分野、724カ所の店舗・施設にご協力をいただいています。また南魚沼市など国内友好都市の協力により旅館などの旅行先でも利用できます。幸せとは健康で長生きをすることにあります。さいたま市は、高齢者の皆様がいいきと健康で暮らせるよう応援してまいります。大いにご活用ください。また、シルバーカードは再発行も可能です。詳しくは各区役所の高齢介護課にご連絡ください。

さらに、高齢者や介護者の相談・癒しの場である「地域包括支援センター」が年中無休になりました。介護をしている方々も悩みや介護など、お気軽に相談できる場所です。昨今、「老々介護」による介護疲れから自殺や殺人などの様々な悲しい事件が相次いでいます。こうした事件を二度と繰り返さないために取り組みを強化したものです。介護疲れを一人で悩み抱えずに、疲れたときや悩みがある時は、市内に26カ所ある「地域包括支援センター」にお気軽にご相談ください。詳しくは介護保険課にご連絡ください。



絆プロジェクト

学校安全ネットワークのモデル事業スタート

さいたま市では、子どもたちの安全を守るためPTAや地域の皆様のご協力を得て「学校安全ネットワーク推進モデル校」による取組をスタートします。2学期より25のモデル校で防犯カメラの活用、防犯ベストの配布、看板等の掲示、学校地域連携コーディネーターや教職員による校内巡回等を進めるとともに、PTAや地域の皆様の見守りなど学校・家庭・地域・行政等の連携を強化し「学校安全ネットワーク推進協議会」を設置して、多くの人の目で子どもたちを守る「学校安全ネットワーク」づくりに取り組んでまいります。地域の安全確保のためには、私たち自身が自らの地域に目を注ぎ地域の絆を深めて、犯罪が起こりにくい環境づくりが何より大切です。モデル校は順次拡大してまいりますので、皆様のご理解・ご協力、積極的な参加をお願いします。問合せは、教育委員会健康教育課まで。

学校安全ネットワークモデル事業推進校

学校	区	学校	区
尾間木小学校	緑区	指扇小学校	西区
道祖土小学校	緑区	栄小学校	西区
中尾小学校	緑区	大宮西小学校	西区
大牧小学校	緑区	下落合小学校	中央区
大谷場小学校	南区	与野西北小学校	中央区
文蔵小学校	南区	鈴谷小学校	中央区
沼影小学校	南区	岩槻小学校	岩槻区
日進小学校	北区	柏崎小学校	岩槻区
大砂土東小学校	見沼区	河合小学校	岩槻区
見沼小学校	見沼区	東岩槻小学校	岩槻区
七里小学校	見沼区	城北小学校	岩槻区
島小学校	見沼区	上里小学校	岩槻区
海老沼小学校	見沼区		

★お知らせ

FMナックファイブ（79.5MHz）「The Frontiers」に出演中（毎週土曜・朝7:40~8:00）
テレビ埼玉「きらめきいっぱいさいたま市（広報番組）」（毎週日曜・午前10:45~）